

幼児教育学科

科目名: 保育実践演習			担当教員 氏名: 北澤 晃			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)
<p>実務経験をういてどの ような授業を行っている か:</p> <p>子どもがどのように、感じ、考え、行為し、意味をつくり続けていく存在かを実務経験に基づいた視点の提供 をする。そのことによって、子どものよさや可能性を具体的に記述できる力を付ける。</p>						
						キーワード
<p>資質・能力を統合・総合化する“Art Thinking”【アナログモード】の重要性を理解し、その思考を 活性化させるさまざまな保育プログラム(方法)の習熟を通して、自らが保育実践活動の場や機会 を計画する際に、“Art Thinking”を活性化させる視点を持つことができる。そのなかで、他者理解 をより深め、より良い活動内容や環境の設定に配慮できる実践者としての資質・能力を高める。</p>						<p>・“Art Thinking” ・保育実践 ・子ども理解</p>
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力			資質・能力を統合化・総合化する“Art Thinking”の重要性を理解する。			
B 専門的技術			“Art Thinking”のプロセスを保障する造形表現(臨床美術)活動に関する技術を習得す る。			
C 論理的思考力			感じ、考え、行為し、意味をつくり続けていることの成り立ちを記述する。			
D 問題解決力			アートプログラムの目的・内容、援助・留意点などについて理解し実践する。			
H コミュニケーション力			表現行為の場に立ち上がる意味に共感的に関わり、他者とのコミュニケーションを図る 態度を持つ。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 70 %	発表: 30 %	実技試験:	%	その他: %
<p>特記事項:『レポート(70%)』は、各活動後の学びをまとめたポートフォリオである。『発表(30%)』は授業における発表状況である。 本科目はアクティブラーニングの一環として、地域コミュニティーで学生が主体的に造形活動を行い、実践力を身につける。</p>						
<p>アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u></p>						
<p>テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 以下の授業で、各自のテーマへの取り組み・進行状況を確認し、過程を評価します。</p>						
<p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回の授業においてコメントする。</p>						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①ガイダンス(「保育実践演習」の概要の理解)と共通テーマの確認				【復習】共通テーマに関わる調査・検討	30	
②個人テーマの設定と理由				【復習】個人テーマの設定	60	
③個人テーマの設定と理由				【復習】個人テーマの設定	60	
④テーマ追究の計画				【復習】テーマ追究の計画	60	
⑤テーマ追究の計画				【復習】テーマ追究の計画	60	
⑥アートプログラムAの試作とプログラムの理解				【復習】試作の振り返りとプログラムの理解	60	
⑦現場実践A				【復習】実践の振り返り	60	
⑧現場実践A				【復習】実践の振り返り	60	
⑨現場実践Aの振り返り				【復習】分析と考察	90	
⑩アートプログラムBの試作とプログラムの理解				【復習】試作の振り返りとプログラムの理解	60	
⑪現場実践B				【復習】実践の振り返り	60	
⑫現場実践B				【復習】実践の振り返り	60	
⑬現場実践Bの振り返り				【復習】分析と考察	90	
⑭学習の振り返りとテーマに関するまとめ				【復習】報告準備	60	
⑮報告				【復習】報告の整理	30	
使用テキスト: 必要に応じて資料を提供します。				<p>その他参考文献など: 適時紹介します。 造形表現活動に関する文献を多く読むこと。</p>		
<p>受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 臨床美術の考え方を生かした造形表現活動を理解・実践することを通して、資質・能力 を統合化・総合化する“Art Thinking”の重要性を理解する。</p>						